

| | | | | | | | | | |
|----------------------|---|------|----|---------|----|-------|--|-----|--|
| 講義コード | 11C0118700 | 授業形態 | 講義 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | | 開講期 | |
| 科目名 | 環境経済学2 | | | | | 藤岡 明房 | | 第2期 | |
| 履修前条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | 環境経済問題を経済学的に分析するための見方を紹介する。これにより、環境問題を体系的に把握することができるようになる。例えば、公害問題は、工場から排出される有害物質を市場を通じないで配分された現象とみなすことによって外部不経済効果として分析できることになる。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 環境問題とは何かについての知識を持ち、環境問題を経済学的視点で分析することができるようになる。主要な経済問題の具体的な内容を知り、それについての実際の対策についても知ることができる。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・ 授業外学修時間数 | 環境問題は分野が広いので、広く関心を持つようにする。例えば、COP21やパリ条約のように国際的に話題になっている環境問題については特に注意してもらいたい。(計60時間) | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ul style="list-style-type: none"> 【第1回】 リサイクル問題1 (定義) 【第2回】 リサイクル問題2 (実態) 【第3回】 リサイクル政策1 (3R) 【第4回】 リサイクル政策2 (個別法) 【第5回】 リサイクル政策3 (不法投棄、対策の遅れ) 【第6回】 地球環境問題1 (種類と特徴) 【第7回】 地球環境問題2 (地球温暖化) 【第8回】 地球環境対策1 (個別の対策) 【第9回】 地球環境対策2 (京都議定書, 国際協力) 【第10回】 新素材・新エネルギー1 (定義、原理) 【第11回】 新素材・新エネルギー2 (発電) 【第12回】 新素材・新エネルギー3 (新素材) 【第13回】 環境ビジネス (新しいビジネス) 【第14回】 環境経営 (環境会計) 【第15回】 第2期まとめ | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 第2期の最後に試験を行い、評価する。また、平常点も参考にする。 | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | 講義はパワーポイントを利用する。パワーポイントの内容は、教育支援のストレージの中で開示する。 | | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | | | |
| 指定図書 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 『環境経済入門』三橋 規宏 (日経文庫) 2013.3、『入門 環境経済学』日引 聡、他 (中公新書) 2002.7、『環境経済学』細田 衛士 (有斐閣アルマ) 2007.3、『環境白書』環境省 (環境省) 2016.6、『グラフィック環境経済学』浅子 和美 (新世社) 2015.3 | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | 環境経済学1も履修するように。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |